

2022年11月25日

各 位

株式会社 もみじ銀行

有限会社広剛産業の「SDGs経営立ち上げ支援サービス」利用による 『SDGs宣言』策定について

もみじ銀行（頭取 小田 宏史）は、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、「SDGs経営立ち上げ支援サービス」を開始しており、お客さまのSDGsに関する取り組み状況の診断と今後の課題抽出を行うことで、『SDGs宣言』の策定に向けた支援を行っております。この度、当サービスを通じて、『SDGs宣言』を策定されたお客さまについて、下記のとおりお知らせします。

当行は、地域の皆さんと共に歩み、共に成長するため、様々な事業活動を通じて、多様な課題の解決に取り組み、地域の価値向上を実践していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 企業概要

企業名	有限会社広剛産業
所在地	広島県広島市安芸区矢野西7丁目17-34
代表者	久保 英幸
業種	建設残土運搬・処理業

※有限会社広剛産業の『SDGs宣言』については、別紙をご参照ください。

2. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート」の実現に資する取り組みです。



以 上

【本件に関するお問合せ先】

ワイエムコンサルティング株式会社 担当：松浦 TEL：082-567-5280

事業性評価部 ソリューション推進グループ 担当：小林 TEL：082-241-3652



有限会社広剛産業 SDGs宣言

当社は、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、
地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年9月28日

有限会社広剛産業

代表取締役 久保 英幸

重点項目(ターゲット2030)

誠実な事業運営

建設残土運搬・処理業を営んでおります。東広島市の条例に則った建設残土の適切な処理及び建設残土受入れ価格の適正な設定等を通じて、皆様に信頼される企業を目指してまいります。

【主な取り組み】

建設残土処分場を2か所保有、東広島市の条例に沿った第1種～第3種の建設残土の受入れ及び適切な処理、建設残土受入れ価格の適正な設定



環境への配慮

環境問題の観点から燃費効率を意識し、最新のダンプカーへの買い替えによる排出ガスの削減等に取り組んでいます。社員に省エネ意識を根付かせ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【主な取り組み】

最新のダンプカーへの買い替えによる排出ガス削減
エコドライブの実施、節水の励行
建設残土埋立計画の策定



地域との共生

あらゆる不測の事態に対応できるように、日頃から建設残土処分場の管理を徹底しております。周辺地域に与える影響を十分理解し、これからも安全対策を継続してまいります。

【主な取り組み】

災害時に備えた建設残土処分場の管理(貯水池の管理、ダンプカーの運路決定)、処分場周辺の方々との交流、地元の小学校への寄付



働きやすい職場づくり

安全点検の定期的な実施等、社員が安心して能力を発揮できる環境づくりに努めます。社員と積極的にコミュニケーションを図り、風通しの良い職場環境を目指してまいります。

【主な取り組み】

ダンプカー免許取得費の負担
社員との積極的なコミュニケーション
安全点検の実施、女性の活躍推進



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中で持続可能な組織である」と示すことにつながります。